

# 決算説明会資料

## 2026年9月期 第2四半期

---

アクセルマーク株式会社（東証グロース:3624）

2026年5月14日

1. 成長戦略の実行状況
2. 2026年9月期 2Q業績概要
3. 各事業の状況
4. 2026年9月期 業績予想の進捗



## 成長戦略の実行に向けた取り組み

成長戦略として掲げているトレカ事業及びヘルスケア分野を基盤としたビューティー & ウェルネス事業について

### トレカ事業

イベント施策の強化および  
体制の強化による業績改善

トレーディングカード事業部において、カードプレイヤー及びコードコレクターの双方が楽しめるイベントを数多く実施。結果、当第2四半期においては前四半期比でいずれの月も売上高が向上

当社トレカ事業責任者の子会社(株式会社crafty)代表取締役就任による体制の強化  
crafty社内の収益構造の見直しを行った結果、収益が改善

### ビューティー & ウェルネス事業

事業ポートフォリオの最適化

成長性や事業環境を踏まえ、中長期的な事業拡大を期待し、  
ウェルネスモアラボラトリーズ社の全株式を取得  
しかしながら、当初想定していた成長の実現可能性に不確実性が発生したため、  
グループ全体の事業ポートフォリオ及び経営資源配分方針を  
総合的に勘案した結果、保有する同社全株式の譲渡を実施

## アクセルマークグループにおける事業への選択と集中

### スパイラルセンス株式会社及びウェルネスモアラボラトリーズ株式会社の株式譲渡

グループシナジーの創出、企業価値向上を目的として、グループ経営の効率化を推進  
成長性の高い事業への経営資源の集中を進めることで、グループ全体の早期収益改善を図る

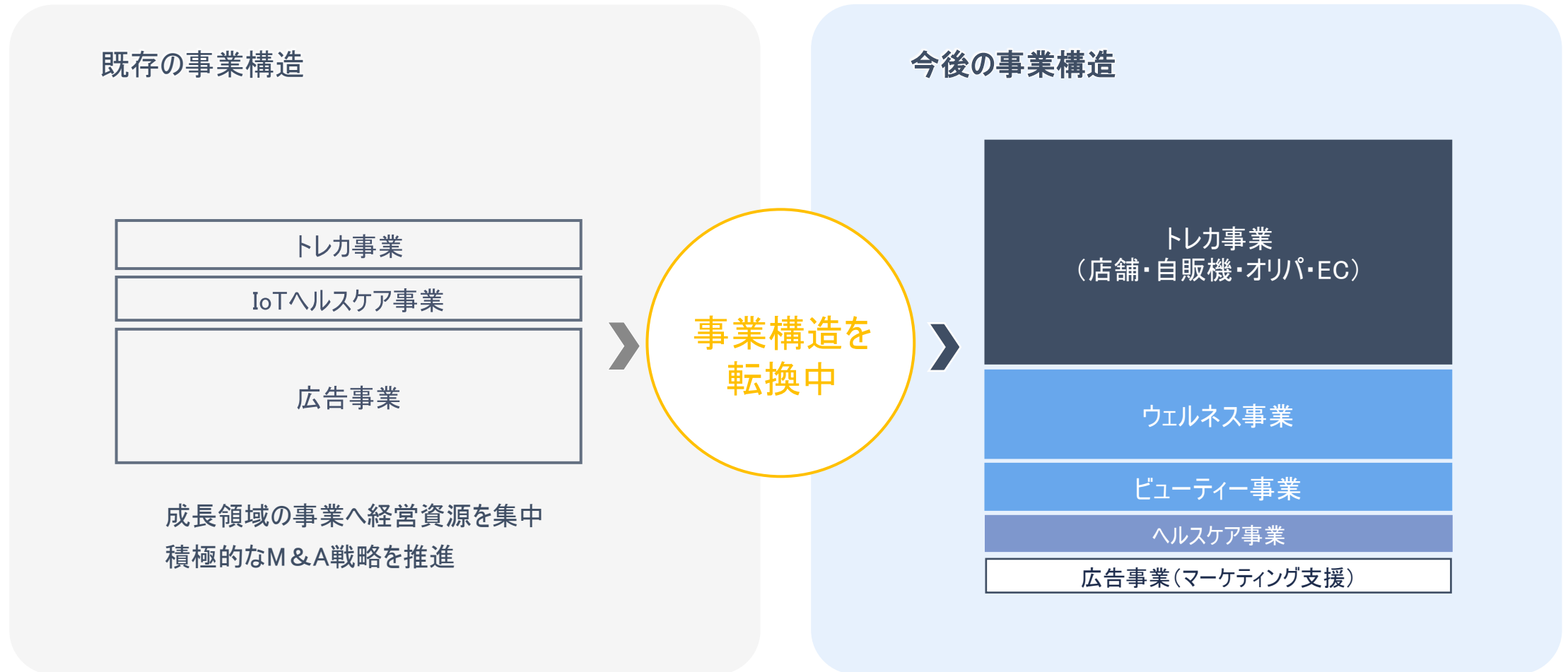
### 株式譲渡した子会社の概要

名称	スパイラルセンス株式会社
所在地	東京都千代田区九段南二丁目5番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役 小林俊夫
資本金	850万円
事業内容	ゲーム・アプリ開発、XR開発、WEB製作/システム製作

名称	ウェルネスモアラボラトリーズ株式会社
所在地	東京都渋谷区本町一丁目20番2号
代表者の役職・氏名	代表取締役 佐野雄大
資本金	2,600万円
事業内容	健康食品事業、化粧品事業、輸入代行業業、支援事業

## 成長領域への集中投資

BtoBビジネスを主体とした事業構造から、BtoCビジネスを主体とした事業構造への転換



## 新株予約権の取得及び消却並びに今後の資本政策の検討

市場環境、株価の動向を勘案した結果、第31回・第32回新株予約権の取得及び消却を実行

### 消却した第31回及び第32回新株予約権の概要

消却した新株予約権の名称	アクセルマーク株式会社 第31回新株予約権
消却した新株予約権の数	121,164 個
取得及び消却日	2026 年4月7日
取得価額	11,510,580 円 (新株予約権1個当たり 95 円)
消却後に残存する 新株予約権の数	0個

消却した新株予約権の名称	アクセルマーク株式会社 第32回新株予約権
消却した新株予約権の数	16,930 個
取得及び消却日	2026 年4月7日
取得価額	16,930 円 (新株予約権1個当たり 95 円)
消却後に残存する 新株予約権の数	0個

### 新株予約権消却後の資本政策の検討状況

今後の資本政策について、事業成長および財務基盤強化に必要な資金の確保に向け、あらゆる選択肢・可能性を含む幅広い検討を推進

1. 成長戦略の実行状況
2. 2026年9月期 2Q業績概要
3. 各事業の状況
4. 2026年9月期 業績予想の進捗



## 2026年9月期 2Qサマリー

売上高

320 百万円  
(前四半期: 321百万円)営業  
利益▲149 百万円  
(前四半期: ▲154百万円)当期  
純利益▲255 百万円  
(前四半期: ▲196百万円)

EBITDA

▲145 百万円  
(前四半期: ▲149百万円)

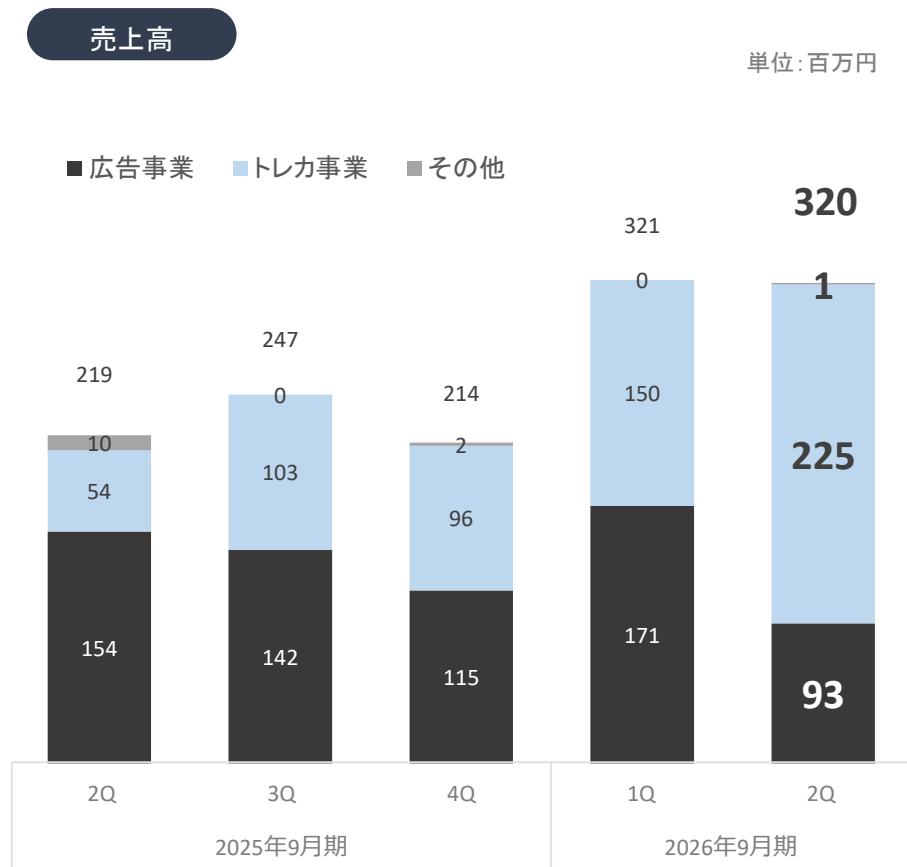
## □ 概況

- ・子会社2社の株式譲渡を実施し、経営資源の最適化を推進
- ・トレカ事業において、店舗オープン以来、過去最高売上高を達成
- ・グループシナジー創出に向け、2026年3月1日付で当社トレカ事業責任者が子会社crafty社代表取締役役に就任
- ・第31回新株予約権及び第32回新株予約権の取得、消却を実行

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

## 業績の四半期推移

広告事業の売上高は減少したものの、トレカ事業の売上高が大幅に拡大したことにより、前四半期比で横ばいを維持



### ■ トレカ事業

積極的なイベント施策の打ち出しに加え、市場環境が良好に推移しており、事業開始以来最大の売上高を記録。

### ■ 広告事業

依然として厳しい事業環境下であり、前四半期比で売上高は縮小。引き続き収益構造の改善を行う。

### ■ その他

ECストアでの自社化粧品ブランドの販売を進める。

## 損益計算書四半期推移

売上高は前四半期比で同水準で推移したものの、販管費削減により営業損失は縮小  
子会社株式の譲渡に伴う特別損失を計上

単位:百万円

	前期		当期	当期	QonQ 差異
	3Q	4Q	1Q	2Q	
売上高	247	214	321	320	▲1
売上原価	200	177	248	256	+8
売上総利益	46	36	73	64	▲9
販売費及び一般管理費	150	222	227	214	▲13
営業利益	▲103	▲185	▲154	▲149	+5
営業外収益	2	1	0	1	+1
営業外費用	28	87	15	13	▲2
経常利益	▲129	▲272	▲168	▲161	+7
特別利益	1	3	0	0	0
特別損失	102	-	36	103	+67
税引前当期純利益	▲230	▲268	▲204	▲264	▲60
法人税等	0	▲4	▲7	▲9	+2
当期純利益	▲230	▲264	▲196	▲255	▲59
EBITDA	▲100	▲181	▲149	▲145	+4

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

## 貸借対照表概要

連結子会社の異動に伴う資産の連結除外及び現預金の減少により、資産額は減少、  
純資産は繰越損失の拡大により減少したものの、大幅な負債圧縮により、自己資本比率は健全な水準で推移

単位: 百万円

	2025年 9月期 4Q末	2026年 9月期 2Q末
<b>流動資産</b>	1,093	421
現金及び預金	919	240
売掛金	65	51
その他	108	129
<b>固定資産</b>	231	138
有形固定資産	19	17
無形固定資産	71	35
投資その他の資産	140	86
<b>資産合計</b>	1,325	560
<b>自己資本比率</b>	60.1%	73.6%

	2025年 9月期 4Q末	2026年 9月期 2Q末
<b>流動負債</b>	499	120
買掛金	38	28
転換社債型新株予約権付社債	356	—
その他	104	91
<b>固定負債</b>	21	2
長期借入金	19	0
その他	1	2
<b>負債合計</b>	520	122
資本金等	2,079	2,143
利益剰余金	▲1,285	▲1,737
新株予約権	7	25
その他	3	6
<b>純資産等合計</b>	804	437
<b>負債・純資産等合計</b>	1,325	560

1. 成長戦略の実行状況
2. 2026年9月期 2Q業績概要
3. 各事業の状況
4. 2026年9月期 業績予想の進捗



## トレカ事業 市場状況

### 国内トレーディングカード市場では、IP拡大とイベント活況を背景にプレイヤーコミュニティが拡大

人気IPの継続展開や大型イベントの活況を背景に、プレイヤー・コレクター双方を含むコミュニティ市場が拡大中。「ポケモンカードゲーム」30周年施策に加え、「ONE PIECEカードゲーム」や「ドラゴンボールスーパーカードゲーム フュージョンワールド」等において全国規模の大会・イベント展開が進行し、継続的なユーザー接点の拡大と市場の多様化が進展中



#### ポケモンカードゲーム30周年

「ポケモンカードゲーム」は**2026年に30周年**を迎え、記念商品の展開や周年施策を実施。長期にわたりプレイヤー・コレクター層を拡大しており、世代を超えて支持されるIPとして市場形成が継続



#### 複数IPで市場形成

「ONE PIECEカードゲーム」や「ドラゴンボールスーパーカードゲーム フュージョンワールド」等、複数タイトルにおいて競技・イベント市場が形成。新規タイトルにおいても店舗予選から全国大会へつながる競技構造が展開され、トレーディングカード市場の多様化が進展。



#### 大会・イベント活況

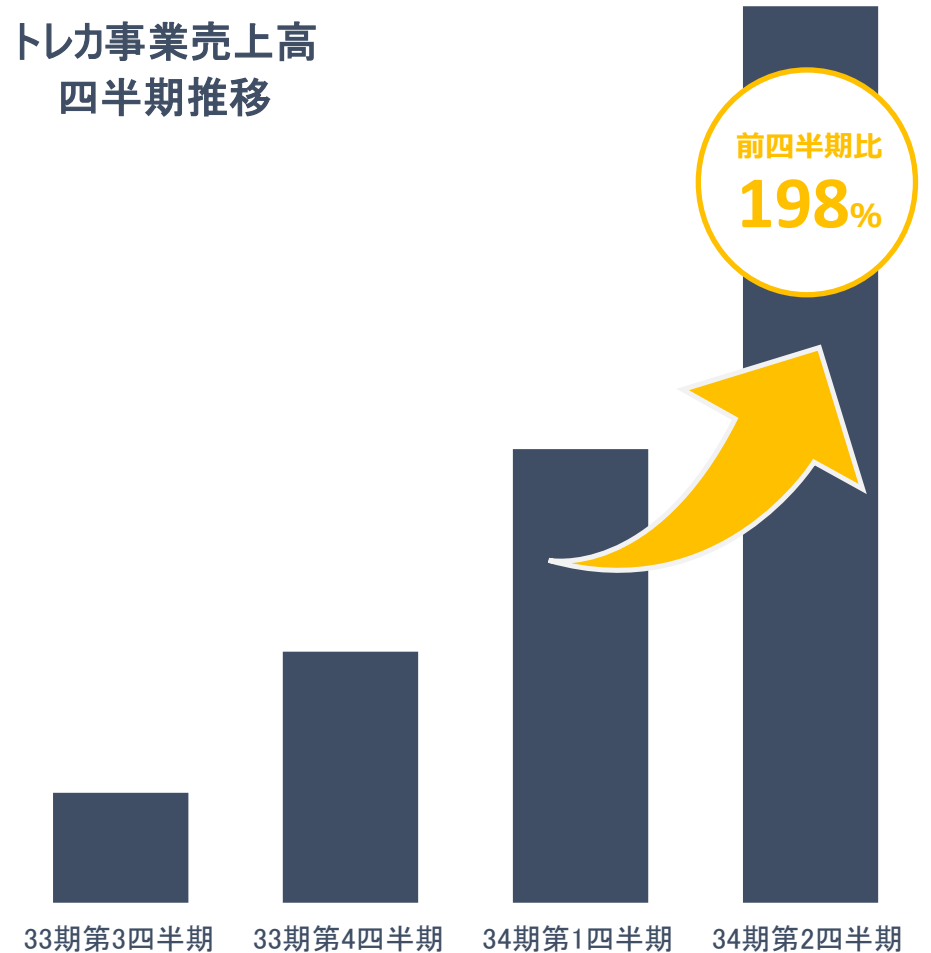
大型カードイベントや公式大会が継続的に開催されるなど、プレイヤーコミュニティが拡大。「BANDAI CARD GAMES Fest 24-25 in JAPAN(FINAL)」では、幕張メッセ会場に**2日間で約20,000人が来場**するなど、オフラインイベント市場も活況

## トレカ事業 cardéria(カーデリア) 池袋店 売上高四半期推移

2025年3月にグランドオープンして以来、  
「Card Community Café  
～トレカの未来を、もっと快適に、もっと楽しく～」を  
コンセプトに、新たなカードコミュニティの形成を支援  
2026年3月の売上高は、開店月比で約15倍(1,492%)、  
当第2四半期間の売上高は前四半期比で約2倍(198%)となり、  
着実な成長を実現



### トレカ事業売上高 四半期推移



## トレカ事業 事業内容

「cardéria池袋店」において、1周年を契機に商品・イベント・SNS施策を集中的に展開  
高額帯商品から低価格帯商材、クリエイターイベント、SNS発信まで多面的な施策を継続することで、  
来店・参加・購買が循環する店舗型コミュニティ形成を推進

### 来店・購買接点の拡大

1周年企画として、ポケモンカードゲーム、ONE PIECEカード、ユニオンアリーナ、ドラゴンボールスーパーカードゲーム フェュージョンワールド等を対象とした福袋・オリパ企画を継続的に展開。

最大42万円の「1st ANNIVERSARY 福袋」抽選販売や、PSA10鑑定ポケモンカード確定オリパ、ストレージカード5円販売など、高額帯から低価格帯まで幅広い施策を実施。

### コミュニティ接点の強化

トレカプレイヤーやクリエイターと連携した大会イベントを継続的に開催。

1周年企画では「ポケカ2023-24日本代表」に選出されたプレイヤー「くらぼん」氏主催による「くらぼんカップ」を開催。



### オンライン接点の拡大

「cardéria」TikTok公式アカウントを開設し、店舗と連動した動画発信を開始。

また、ECサイトにおける取り扱い商品を拡充するなど、オンライン領域における情報発信・接触機会の拡大を推進。



## トレカ事業 子会社craftyの体制変更について

オンラインオリパサービス「アイリストレカ」を運営する株式会社craftyにおいて、当社トレカ事業責任者が代表取締役社長に就任  
店舗・オンライン双方を含めたトレカ事業全体の運営体制強化を進めるとともに、新経営体制移行後にはサービス体験向上に  
向けた施策を継続的に展開

サービス開始3周年/G.W. 企画実施



ユーザー活性化/ロイヤリティ強化

“引く楽しさ”を強化 新演出 追加



UX改善

段階的に楽しめる新機能「条件解放オリパ」



サービス回遊性向上

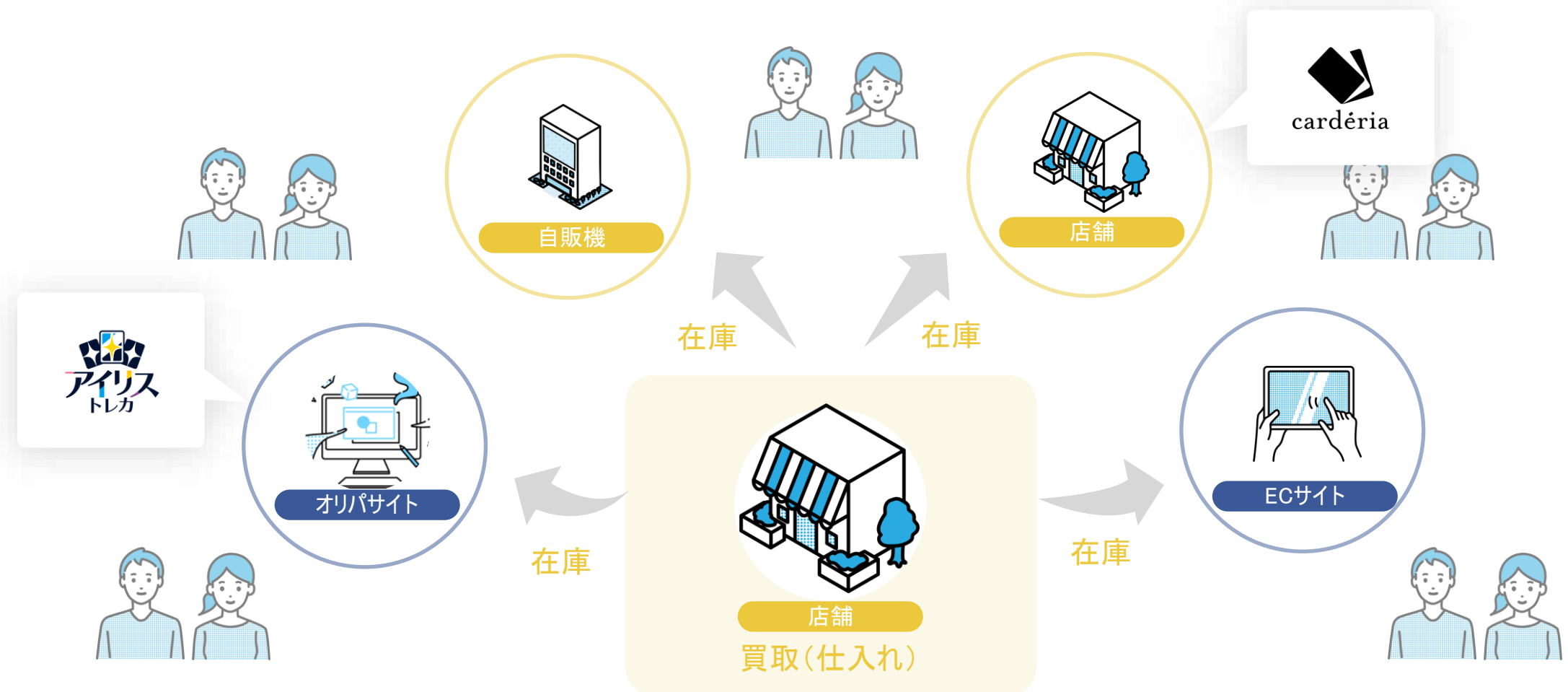


「アイリストレカ」は、オンライン上でオリパを楽しめるサービスとして、エンターテインメント性と信頼性の両立を目指したサービス運営を展開。プレイ状況に応じて変化する「逆転ゲージ」や、マップ探索型コンテンツ「トレジャーハント」など、抽選要素にゲーム性を組み合わせた機能を取り入れることで、オンラインオリパならではのサービス体験向上を進めている。また、アクセルマークグループが運営主体となることで、サービス運営における透明性や信頼性の確保にも取り組んでいる。



## トレカ事業 オムニチャネル(オンライン・オフライン)戦略について

店舗展開および EC 展開の双方を注力領域として、店舗での購入や買取体験と、ECサイトでの利便性を融合させることで、顧客接点を拡大し、オンラインとオフライン双方でのトレカ事業の拡大を推進する



1. 成長戦略の実行状況
2. 2026年9月期 2Q業績概要
3. 各事業の状況
4. 2026年9月期 業績予想の進捗

## 2026年9月期 業績予想の進捗

2Q時点で売上高は通期予想に対して堅調に進捗

利益面では、グループ会社再編に伴う特別損失を計上したものの、概ね計画の範囲内で推移しており、下期での収益性向上及び通期業績予想達成に向けた体制強化を推進

単位:百万円

	2025年9月期 通期 実績	2026年9月期 2Q 実績	2026年9月期 通期 予想
売上高	973	642	1,308
営業利益	▲520	▲303	▲486
経常利益	▲672	▲330	▲501
当期純利益	▲763	▲451	▲502



当資料はアクセルマーク株式会社が作成したものであり内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

当資料は当社の現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

また、当資料は当社が信頼できると判断した情報を参考に作成していますが、当社がその正確性を保証するものではなく、事業計画数値に関しても今後変更される可能性があることをご了解下さい。

最新情報やお問い合わせは下記のコーポレートページよりお願いいたします。

<https://www.axelmark.co.jp/ir/>